市政に関する一般質問

今定例会では、２４名の議員が一般質問を行いました。

一般質問の表題

会派名　議員氏名　質問の順番

問　（質問の要約）

答　答弁者　※

質問　通告事項の要約

（答弁の要約）

※ 印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

会議録の閲覧

【今定例会の会議録】
川越市議会ホームページ、または図書館等で11月下旬頃から閲覧できます。

【閲覧場所】
図書館／市民センター／議会事務局／情報公開窓口（東庁舎）

やまぶき会　小高浩行　1

市民センターの建て替えは

問 建設から45年以上経過している芳野、古谷、山田などのような、老朽化した市民センター施設の建て替えについて、市の考えを伺う。

答 総合政策部長　市民センターは地域の活動を支える拠点となる施設であり、老朽化している市民センターの建て替えや長寿命化などの取り組みを進めていかなければならないものと認識している。

そのため、現在、川越市公共施設等総合管理計画で示した基本方針に沿って、施設ごとに、整備、更新に関する具体的な取り組み内容を定める個別施設計画の策定の検討を進めているところである。

質問 市民センター

質問 高齢者の社会参加推進

自由民主党　吉敷賢一郎　2

荒川堤防整備の早期実現を

問 市と自治会で早期事業化を要望した「荒川堤防かさ上げ及びJR川越線橋梁架替」は、市と下流域の安全に必要不可欠と思われる。市の考えは？

答 市長　JR川越線橋梁を含めた荒川堤防の整備については、広域にわたる災害防止に資するものであることから、早期の整備が必要不可欠であると認識しているところである。

今後も、「荒川水系河川整備計画」に基づく整備の実現に向け、国や関係機関へ働きかけていきたいと考えている。

質問 防災の取組と災害対応

質問 総合体育館の整備充実

自由民主党　栗原瑞治　3

障がい者雇用の企業理解を

問 障がい者の就労は、何より企業経営者や人事担当者の理解が不可欠である。民間企業の障がい者雇用への理解促進のため今後どう取り組むのか？

答 産業観光部長　障害者雇用の理解促進の取り組みについては、それぞれの企業の経営者や人事担当者の理解が重要と考えている。

市として直接的なアプローチは行っていないが、今後、障害者雇用の理解促進のため、関係機関と連携し、県作成の「障害者雇用の企業支援ガイド」の企業への配布や、障害者雇用に先進的な企業の見学会の実施等を検討していきたい。

質問 障がい者雇用の促進

公明党　桐野忠　4

今後の商店街活性化の考え

問 商店街の役割として、安心安全なコミュニティーの場としても活性化が必要と考えるが、今後の商店街活性化の市の考えを伺いたい。

答 産業観光部長　将来にわたり商店街の活性化を図っていくには、商店街に買い物をする場としてだけでなく、地域コミュニティーの場としての役割があらためて求められると考えている。川越市産業振興ビジョンでは、「商店街のコミュニティ機能の強化」を商店街活性化の基本施策の一つに据えており、ビジョンに掲げる事業を実施し、また、未実施の新規事業を順次実施していくことにより一層の活性化を図っていきたいと考えている。

質問 防災・減災の取り組み

質問 商店街活性化

自由民主党　岸啓祐　5

教員の長時間労働の緩和を

問 教員の深刻な長時間労働を緩和させるため校務支援システムの導入を早期に実現すべきであるが市の考えを問う。

答 教育長　教職員の事務負担を軽減することは、長時間勤務の状態を改善するとともに、教員本来の使命である児童生徒一人一人の学力向上を図ることにつながると考えている。

教職員の事務に係る負担軽減を図るとともに、児童生徒に向き合える時間や、教材研究の時間を確保するためにも、日常的な事務にかかる時間を短縮できる校務支援システムの導入について、検討していきたいと考える。

質問 埋蔵文化財発掘事業

質問 校務支援システム導入